

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社ダイキアキス 上場取引所 東
 コード番号 4245 URL <https://www.daiki-axis.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 2021年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	19,117	9.6	780	14.3	864	14.2	440	56.3
2020年12月期第2四半期	17,443	△2.3	682	35.5	757	31.5	281	31.4

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 546百万円(129.4%) 2020年12月期第2四半期 238百万円(4.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第2四半期	34	38	33	98
2020年12月期第2四半期	23	46	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	28,262	30.4	8,608	30.4	—	—
2020年12月期	27,778	27.5	7,634	27.5	—	—

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 8,604百万円 2020年12月期 7,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00	—
2021年12月期	—	12.00	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	35,400	2.2	1,150	10.0	1,300	7.3	700	46.7	56	43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	13,414,900株	2020年12月期	12,788,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	383,098株	2020年12月期	383,698株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	12,811,650株	2020年12月期2Q	12,017,340株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、下記日程にて決算説明会(オンライン説明会)を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

機関投資家向け：2021年9月2日(木)

上記説明会のほかにも、個人投資家向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等につきましては、当社ウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	174億43百万円	191億17百万円	+16億74百万円	+9.6%
営業利益	6億82百万円	7億80百万円	+97百万円	+14.3%
経常利益	7億57百万円	8億64百万円	+1億7百万円	+14.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2億81百万円	4億40百万円	+1億58百万円	+56.3%

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響によって引き続き低迷した状況が続いております。

このような状況のもと、2021年2月に2021年度から2023年における新中期経営計画「PROTECT×CHANGE」を策定いたしました。新中期経営計画のメインテーマにコーポレートスローガンである「PROTECT×CHANGE」を利用することで改めてグループ全社員がコーポレートスローガンを深く理解・体現し、グループとして一体感を持って企業使命である「環境を守る。未来を変える。」を推進いたします。

新中期経営計画においては、定量目標は新型コロナウイルス感染症の影響によって中長期的な業績に与える影響に未確定な要因が多いことから当連結会計年度の単年度目標のみ策定しております。定性目標は前中期経営計画において将来の収益性の向上に重点を置いた戦略を推進しており、今後も推進すべきものと考え、引き続き成長戦略としております。

セグメント	戦略
環境機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 海外における事業展開の推進 ストックビジネスであるメンテナンス事業および上水エスコ事業の拡大
住宅機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ECビジネスの開始、新商材の発掘等、安定事業から成長事業への転化
再生可能エネルギー関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会の実現と安定収益確保の強化 ポストFITの高付加価値事業・商材の発掘
全社	<ul style="list-style-type: none"> IT戦略を実現するための組織強化 生産性向上ツールとしてITを利活用

当第2四半期連結累計期間の売上高は191億17百万円(前年同期比9.6%増)となりましたが、前第2四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響から業績の見通しが困難であったことから役員および従業員の賞与引当金繰入額の見直しを行っており、売上総利益は40億8百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は7億80百万円(前年同期比14.3%増)および経常利益は8億64百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

特別損益について、製造設備の撤去に伴う固定資産除却損10百万円およびバイオディーゼル燃料事業に係る固定資産(BDF製造設備)の減損損失54百万円を計上したことにより、税引前四半期純利益は8億3百万円(前年同四半期比17.9%増)となりました。

なお、前年12月に連結子会社の株式会社シルフィードが発行していた優先配当権が付された種類株式を当社が買い取ったことによって当第2四半期連結累計期間においてそれに係る非支配株主に帰属する四半期純利益の計上はありませんでした(前年同四半期は48百万円)。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億40百万円(前年同期比56.3%増)となりました。

- ② セグメントごとの経営成績
セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境機器関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	86億53百万円	101億34百万円	+14億81百万円	+17.1%
セグメント利益(営業利益)	5億84百万円	8億82百万円	+2億97百万円	+51.0%

・浄化槽・排水処理システム

売上高は前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。その要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による設備投資需要の減少はあるものの、国内売上高における大型案件(食品工場等の産業排水処理施設)の工事進行基準による進捗率に応じた売上高の計上が大きく寄与しております。

海外につきましても新型コロナウイルス感染症拡大による景況悪化の影響を引き続き受けておりますが、中国における大型案件(食品工場の産業排水処理施設)の完成やコロナ禍においても引き合いが旺盛なインドの影響によって海外売上高は増加しております。

なお、海外において中国以外の各国については連結子会社の決算日と連結決算日が異なっており、前第2四半期連結累計期間においては2020年3月31日現在、当第2四半期連結累計期間においては2021年3月31日現在で決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎としております。このため、前第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であります。

ストックビジネスであるメンテナンス売上については、成長戦略に基づいたメンテナンス契約の拡大を推進したことにより増加しております。

・地下水飲料化事業

ストックビジネスであるエスコ契約に係る売上高およびメンテナンス売上は新規契約によって増加しております。

また、プラント販売におきましても当第2四半期連結累計期間において案件が完成したことによって売上高は増加しております。

前第2四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響に伴い賞与引当金繰入額の見直しを行ったことにより人件費については前年同四半期と比較して増加しておりますが、同感染症によって移動に制限が発生したことによる旅費交通費減少等の理由によって販売費及び一般管理費については同水準で推移しております。その結果、セグメント利益(営業利益)の前年同四半期比は大幅に増加しております。

(住宅機器関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	73億79百万円	82億円	+8億20百万円	+11.1%
セグメント利益(営業利益)	2億66百万円	2億93百万円	+27百万円	+10.2%

・建設関連業者等(ゼネコン・地場建築業者・ハウスメーカー等)

一部、新型コロナウイルス感染症の影響によって着工遅れが生じたことによって工期が後ろ倒しとなった案件はありますが、体育館における放射冷暖房設備の設置や従来は鉄骨やRC造でなければ建築出来なかった建物を間伐材などを利用して木造で建築する工法を取り入れた建物建築といった環境配慮型商材の販売に加え、ホームセンターを運営するDCM向けの空調・衛生機器等の改修・更新、マンションへの衛生機器等の納入や教育関連施設への家具納入などの大型案件完成の影響によって大幅に増加しております。

また、新型コロナウイルス感染症に関連した補助金の影響により、非接触型トイレ(自動開閉や自動洗浄等)の需要も多く発生いたしました。

・住機部門工事(外壁・店舗建築・冷凍冷蔵工事等)

設備投資需要消極化の影響がある中、外壁工事および冷凍・冷蔵設備売上については中大型案件の影響によって増加いたしました。また、農業温室関係の売上が減少したことにより全体では前年同四半期と比較して堅調に推移しております。

- ・ホームセンターリテール商材

前第2四半期連結累計期間におきましては新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってメーカー製品の出荷が滞り、納品が遅延した影響がありました。当第2四半期連結累計期間におきましてもコロナ禍において需要の高い非接触型商材につきましては納期に時間が掛かっているものの、その他の商品調達につきましては大きな影響がないことに加え、モデルチェンジによる新商品の販売によって売上は増加しております。

- ・ECビジネス(混合栓・ウォシュレットの取付工事のオンライン注文)

前第2四半期連結累計期間におきましては新型コロナウイルス感染症の影響によって協力業者との関係構築が停滞し、提供可能エリア・サービスに制限がありました。当第2四半期連結累計期間におきましては想定よりも遅延している状況ではありますが堅調に売上は推移しております。

(再生可能エネルギー関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	4億45百万円	4億52百万円	+6百万円	+1.5%
セグメント利益(営業利益)	1億82百万円	1億21百万円	△61百万円	△33.6%

- ・太陽光発電に係る売電事業

2018年度よりDCMグループの店舗屋根を賃借して発電施設を建設し、固定価格買取制度(FIT)を利用した売電を実施しております。当第2四半期連結会計期間末日において130件(前年同四半期末日は127件)の系統連系が完了しており、当初計画していました施設への設置は全て完了いたしました。

売上高につきまして、連系施設数の増加に加え日照時間が前年同四半期と比較して長かったことが増加要因としてございますが、前第2四半期連結累計期間末において株式会社DADを売却したことにより太陽光発電に係る売電事業の売上高は減少しております。

また、一部の施設における施工上の不具合が判明し、同様の施設を点検した際に生じた費用が発生したことからセグメント利益(営業利益)が減少しております。

- ・小形風力発電事業

小形風力発電に係る売電のための施設について当第2四半期累計期間において6施設の連系が完了しております。その結果、小形風力発電事業における売上高は堅調に推移しております。

- ・バイオディーゼル燃料関連事業

バイオディーゼル燃料を5%混合することで軽油と同様に利用することができる「B5軽油」の契約件数が増加したことにより、前年同四半期と比較して売上高は増加しております。

(その他の事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	9億64百万円	3億29百万円	△6億34百万円	△65.8%
セグメント利益(営業利益)	98百万円	63百万円	△34百万円	△34.8%

土木工事業を営んでいた株式会社DADを前第2四半期連結会計期間末において売却したことにより売上高は大きく減少しております。

家庭用飲料水事業については、水道直結型のウォーターサーバーの契約者数の増加によって堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動資産	174億48百万円	180億31百万円	+5億82百万円	+3.3%
固定資産	103億30百万円	102億31百万円	△98百万円	△1.0%
資産合計	277億78百万円	282億62百万円	+4億84百万円	+1.7%

流動資産につきましては、環境機器関連事業において当第2四半期連結累計期間に排水処理施設等の大型工事案件の進捗が進んだことにより売上債権が増加しております。

固定資産につきましては、ストックビジネス拡大による事業基盤の強化や安定収益確保のために、環境機器関連事業の地下水飲料化システムや再生可能エネルギー関連事業の太陽光発電および小形風力発電設備への投資を継続して実施しておりますが、バイオディーゼル燃料事業に係る固定資産(BDF製造設備)の減損損失を計上したことや子会社ののれんの償却により、前連結会計年度と比較すると減少しております。

(負債・純資産)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動負債	158億78百万円	137億65百万円	△21億13百万円	△13.3%
固定負債	42億65百万円	58億89百万円	+16億23百万円	+38.1%
純資産	76億34百万円	86億8百万円	+9億73百万円	+12.8%
負債・純資産合計	277億78百万円	282億62百万円	+4億84百万円	+1.7%

流動負債につきましては、環境機器関連事業において当第2四半期連結累計期間に排水処理施設等の大型工事案件の進捗が進んだことにより仕入債務が増加しておりますが、短期貸付金を返済したことにより前連結会計年度と比較すると減少しております。

固定負債につきましては、上記設備投資への資金を確保するためシンジケートローンの実行およびグリーンボンドの発行により増加しております。

純資産につきましては、前連結会計年度より発行した行使価額修正条項付新株予約権の行使により、資本金および資本準備金が増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物	71億15百万円	72億56百万円	+1億40百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	18億33百万円	2億34百万円	△15億98百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13億43百万円	△3億22百万円	+10億20百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4億73百万円	△5億75百万円	△1億1百万円

(当連結会計年度の主な内訳)

科目	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	主に、税金等調整前四半期純利益8億3百万円、減価償却費3億18百万円、売上債権の増加額9億2百万円、たな卸資産の増加額84百万円、仕入債務の増加額1億50百万円、減損損失54百万円および法人税等の支払額3億31百万円によるものであります。
投資活動による キャッシュ・フロー	主に、有形固定資産の取得による支出2億45百万円、投資有価証券の取得による支出1億60百万円および投資有価証券の売却による収入1億27百万円によるものであります。
財務活動による キャッシュ・フロー	主に、短期借入金の減少額27億63百万円、長期借入れによる収入10億円、社債の発行による収入10億円、株式の発行による収入5億80百万円および配当金の支払1億53百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,896,415	7,302,490
受取手形及び売掛金	5,757,767	6,248,203
完成工事未収入金	1,358,511	1,789,175
商品及び製品	346,847	372,678
仕掛品	10,774	14,678
未成工事支出金	1,461,911	1,534,223
原材料及び貯蔵品	243,770	234,469
その他	507,933	681,859
貸倒引当金	△135,624	△146,560
流動資産合計	17,448,307	18,031,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,115,804	2,162,064
減価償却累計額	△757,057	△807,499
建物及び構築物（純額）	1,358,747	1,354,564
機械装置及び運搬具	6,596,706	7,003,568
減価償却累計額	△2,090,272	△2,299,874
機械装置及び運搬具（純額）	4,506,433	4,703,693
土地	1,614,355	1,617,956
建設仮勘定	439,680	166,835
その他	667,974	649,986
減価償却累計額	△539,789	△528,355
その他（純額）	128,185	121,630
有形固定資産合計	8,047,402	7,964,680
無形固定資産		
のれん	516,295	479,537
その他	225,898	199,787
無形固定資産合計	742,194	679,325
投資その他の資産		
投資有価証券	401,786	436,834
その他	1,377,029	1,375,835
貸倒引当金	△238,204	△225,082
投資その他の資産合計	1,540,611	1,587,587
固定資産合計	10,330,208	10,231,592
資産合計	27,778,515	28,262,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,280,836	2,331,280
工事未払金	1,248,014	1,355,833
短期借入金	9,192,963	6,430,140
1年内返済予定の長期借入金	83,016	164,136
1年内償還予定の社債	300,000	400,000
未払法人税等	264,897	327,996
未成工事受入金	822,602	1,149,209
賞与引当金	272,674	181,238
引当金	134,865	187,579
その他	1,279,011	1,238,115
流動負債合計	15,878,882	13,765,531
固定負債		
社債	2,575,000	3,325,000
長期借入金	404,598	1,275,840
引当金	83,971	75,319
資産除去債務	386,737	402,328
その他	815,050	810,601
固定負債合計	4,265,357	5,889,090
負債合計	20,144,240	19,654,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158,531	2,449,099
資本剰余金	1,897,636	2,188,203
利益剰余金	4,033,999	4,321,035
自己株式	△289,550	△289,256
株主資本合計	7,800,616	8,669,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,600	55,028
為替換算調整勘定	△227,694	△119,686
その他の包括利益累計額合計	△171,094	△64,658
新株予約権	3,328	2,345
非支配株主持分	1,425	1,419
純資産合計	7,634,275	8,608,188
負債純資産合計	27,778,515	28,262,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	17,443,744	19,117,753
売上原価	13,650,801	15,109,593
売上総利益	3,792,942	4,008,160
販売費及び一般管理費	3,109,996	3,227,641
営業利益	682,945	780,518
営業外収益		
受取利息	3,838	2,372
受取配当金	2,559	4,435
仕入割引	72,212	76,539
その他	66,740	55,600
営業外収益合計	145,351	138,947
営業外費用		
支払利息	17,873	15,308
社債利息	3,836	5,170
持分法による投資損失	322	5,261
貸倒引当金繰入額	△3,553	△42
支払手数料	36,321	21,388
その他	16,484	7,513
営業外費用合計	71,285	54,600
経常利益	757,011	864,865
特別利益		
固定資産売却益	9,295	801
投資有価証券売却益	5,528	3,855
関係会社株式売却益	152,298	—
特別利益合計	167,122	4,657
特別損失		
固定資産売却損	868	332
固定資産除却損	4,282	10,500
減損損失	236,810	54,726
特別損失合計	241,960	65,558
税金等調整前四半期純利益	682,173	803,964
法人税、住民税及び事業税	306,825	355,533
法人税等調整額	45,439	7,936
法人税等合計	352,264	363,470
四半期純利益	329,908	440,494
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	48,000	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,908	440,499

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	329,908	440,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,803	△1,571
為替換算調整勘定	△73,529	105,225
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,138	2,781
その他の包括利益合計	△91,470	106,435
四半期包括利益	238,438	546,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,438	546,935
非支配株主に係る四半期包括利益	48,000	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,173	803,964
減価償却費	308,208	318,433
のれん償却額	62,796	46,754
減損損失	236,810	54,726
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,310	△3,350
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,950	△91,731
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	13,714	23,762
製品保証引当金の増減額(△は減少)	37	85
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△9,410	△1,282
工事損失引当金の増減額(△は減少)	27,213	30,095
受取利息及び受取配当金	△6,397	△6,807
支払利息	21,710	20,478
持分法による投資損益(△は益)	322	5,261
固定資産売却損益(△は益)	△8,427	△469
固定資産除却損	4,282	10,500
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,528	△3,855
関係会社株式売却損益(△は益)	△152,298	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,042,678	△902,994
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,155	△84,150
未収入金の増減額(△は増加)	△16,322	△27,827
仕入債務の増減額(△は減少)	△556,688	150,771
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△49,059	323,321
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△4,168	△651
未払消費税等の増減額(△は減少)	△367,729	100,148
その他	△301,906	△185,520
小計	1,928,215	579,664
利息及び配当金の受取額	5,975	6,546
利息の支払額	△19,572	△20,075
法人税等の支払額	△177,433	△331,644
法人税等の還付額	96,057	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,833,240	234,490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,000	△18,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△405,614	△245,084
有形固定資産の売却による収入	73,510	1,040
投資有価証券の取得による支出	△34,883	△160,171
投資有価証券の売却による収入	35,756	127,184
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△987,891	—
貸付けによる支出	—	△12,000
貸付金の回収による収入	530	3,660
差入保証金の差入による支出	△1,685	△1,061
その他	△17,015	△30,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,343,293	△322,607

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△3,027,455	△2,763,509
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△134,206	△47,638
社債の発行による収入	3,000,000	1,000,000
社債の償還による支出	△75,000	△150,000
株式の発行による収入	—	580,151
配当金の支払額	△148,903	△153,463
非支配株主への配当金の支払額	△49,183	—
リース債務の返済による支出	△39,250	△40,545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473,998	△575,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,930	63,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,982	△599,924
現金及び現金同等物の期首残高	7,124,564	7,856,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,115,581	7,256,490

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,653,861	7,379,605	445,838	16,479,306	964,437	17,443,744
セグメント間の 内部売上高または振替高	20,212	1,148	513	21,873	4,771	26,644
計	8,674,073	7,380,754	446,351	16,501,179	969,209	17,470,388
セグメント利益	584,769	266,149	182,827	1,033,746	98,084	1,131,831

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,033,746
「その他」の区分の利益	98,084
セグメント間取引消去	68,601
全社費用(注)	△517,486
四半期連結損益計算書の営業利益	682,945

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、208,840千円であります。

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、27,970千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社であるCRYSTAL CLEAR CONTRACTOR PTE. LTD.に係るのれんを、株式取得時に想定していた受注案件の見直し等の影響により当初想定期間内の投資回収が見込めなくなったことから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として135,349千円計上しております。

なお、当該減損損失は上記、「(固定資産に係る重要な減損損失)」の「環境機器関連事業」セグメントにおける減損損失の計上額に含まれております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,134,964	8,200,098	452,748	18,787,810	329,942	19,117,753
セグメント間の 内部売上高または振替高	23,861	2,676	75	26,612	158	26,771
計	10,158,825	8,202,774	452,823	18,814,422	330,101	19,144,524
セグメント利益	882,764	293,168	121,457	1,297,390	63,944	1,361,334

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,297,390
「その他」の区分の利益	63,944
セグメント間取引消去	73,191
全社費用(注)	△654,006
四半期連結損益計算書の営業利益	780,518

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、54,726千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。